

2015年10月28日
株式会社日本政策金融公庫
中小企業事業本部
保険企画部

第186回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2015年7～9月期実績、10～12月期見通し)

**[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、やや改善している
～景況は持ち直しの動きがみられる～**

- 【金融関連】 ○ 資金繰りD. I. は、マイナス幅がやや縮小し、▲10.3となった。
○ 借入難易感D. I. は、マイナス幅がやや縮小し、▲1.5となった。
○ 今期(15年7～9月)に借入を実施した企業の割合は、ほぼ横ばいで推移。資金用途では、設備資金の割合が上昇。
- 【保証利用】 ○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや減少し、5割を下回った。
○ 来期における保証利用要請D. I. は、ほぼ横ばいで推移。
※ 保証利用要請D. I. …金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】 ○ 生産・売上げD. I. は、マイナス幅が縮小し、▲3.9となった。
○ 採算D. I. は、マイナス幅がやや縮小し、▲11.6となった。
- 【特別調査】 「金融機関との取引状況等について」
○ 9割超の企業がメインバンクがあり、6割超の企業が「融資相談・勧誘」等で月1回以上接触していると回答。
○ 7割弱の企業が、メインバンクの担当者は自社の事業内容及び経営課題・ニーズを把握していると回答。

<調査の要領> 調査時点 2015年9月中旬
調査対象 9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先
16,000企業を対象としており、**回答企業の約8割が従業員20人以下の小規模企業**となっています。
有効回答企業数 3,753企業
回答率 23.5%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2384(担当:前田、宮本、角)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

本資料は日本銀行内金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

(1) 資金繰り

・資金繰りD.I. は、マイナス幅がやや縮小し、▲10.3となった。

		2014/7-9	10-12	2015/1-3	4-6	7-9	10-12
資金繰りD.I.	実績	▲12.8	▲14.1	▲12.0	▲11.4	▲10.3	
	見通し	▲10.4	▲11.0	▲11.3	▲10.5	▲8.1	▲10.7

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

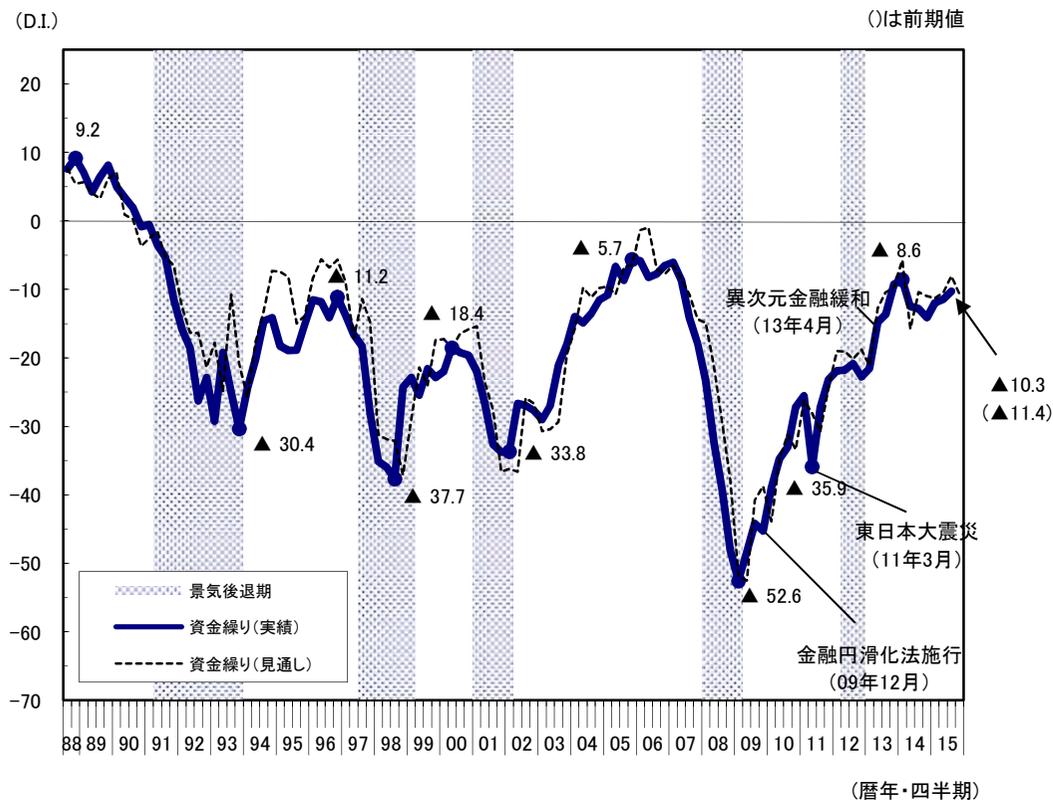
(2) 借入難易感

・借入難易感D.I. は、マイナス幅がやや縮小し、▲1.5となった。

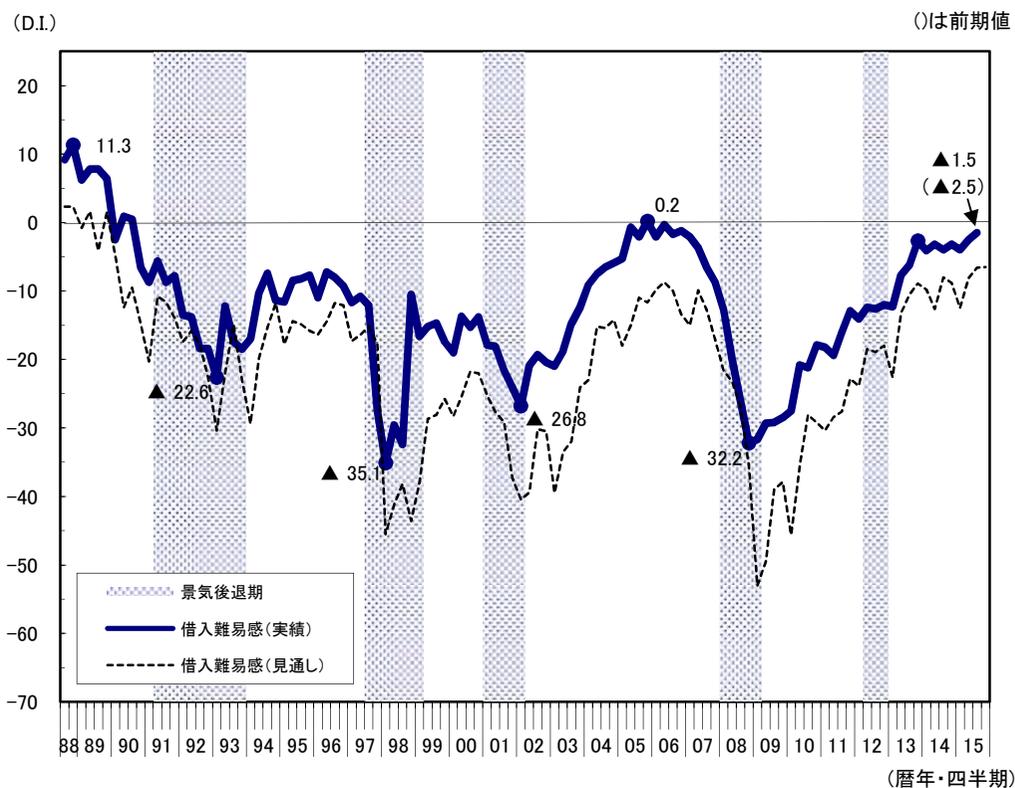
		2014/7-9	10-12	2015/1-3	4-6	7-9	10-12
借入難易感D.I.	実績	▲4.0	▲3.2	▲4.0	▲2.5	▲1.5	
	見通し	▲8.0	▲8.8	▲12.5	▲8.1	▲6.6	▲6.5

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

資金繰りD.I. (季節調整値)の推移



借入難易感D.I. の推移



(3) 借入れ状況

・今期(15年7~9月)に借入を実施した企業の割合は、ほぼ横ばいで推移している。

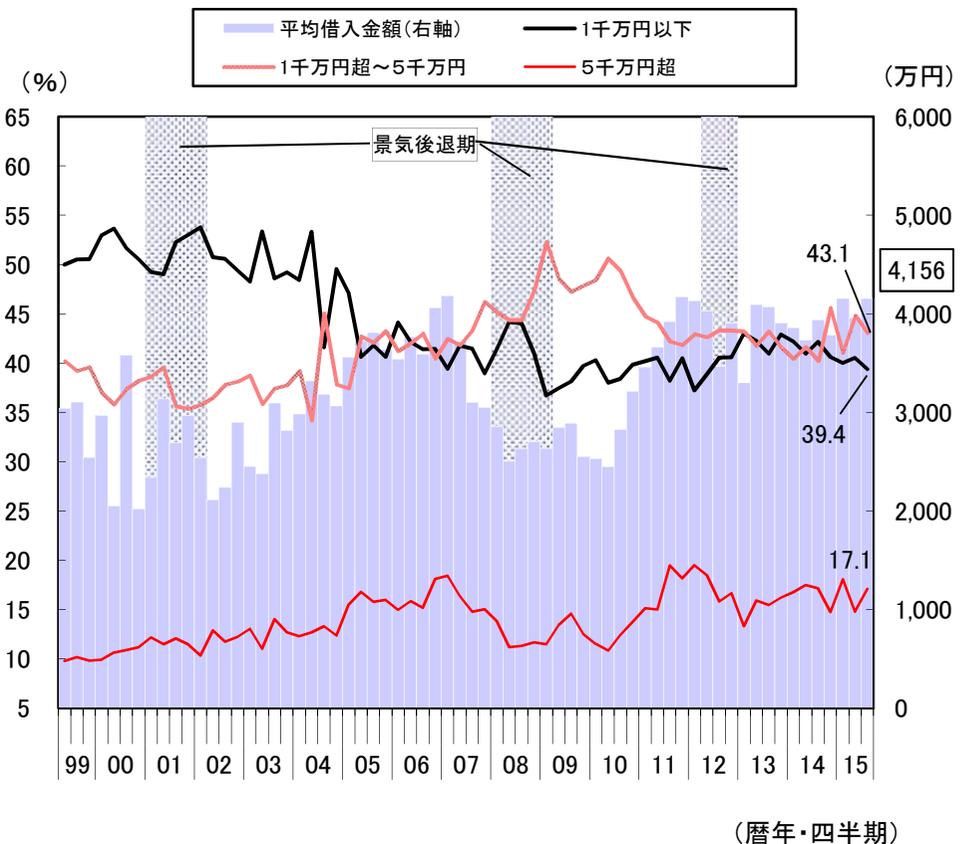
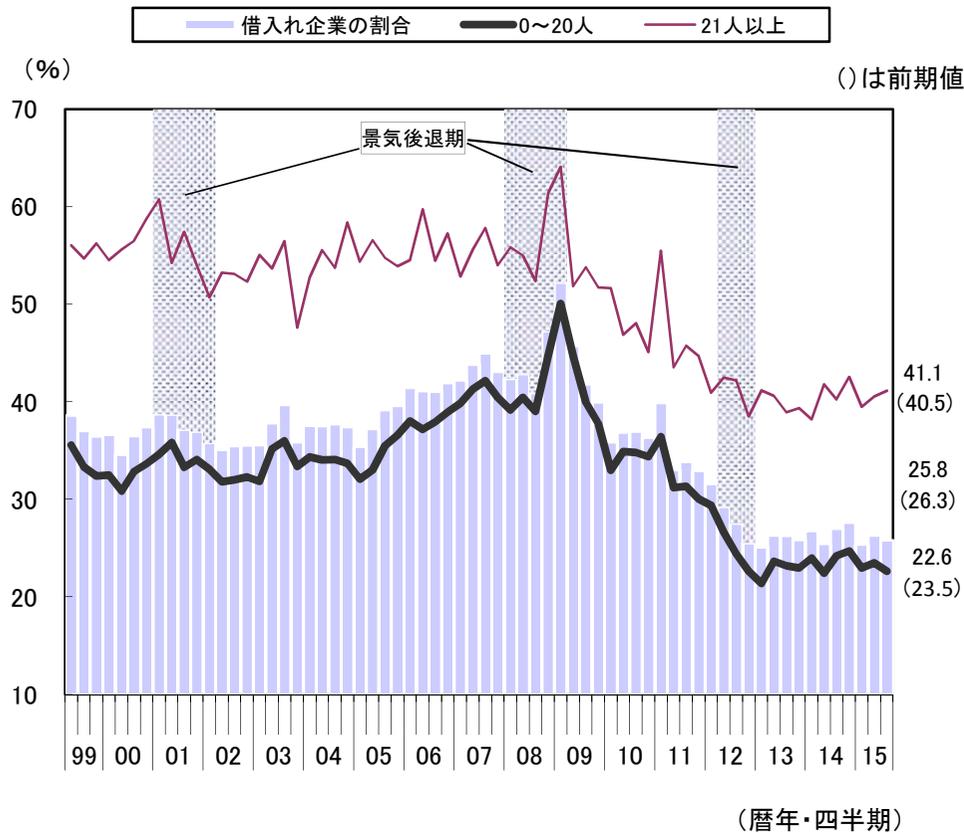
・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円以下」及び「1千万円超~5千万円」がやや減少、「5千万円超」がやや増加した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2014/7-9	10-12	2015/1-3	4-6	7-9
借入れ企業の割合	27.0	27.6	25.4	26.3	25.8
0-20人	24.2	24.7	22.9	23.5	22.6
21人以上	40.2	42.5	39.5	40.5	41.1

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

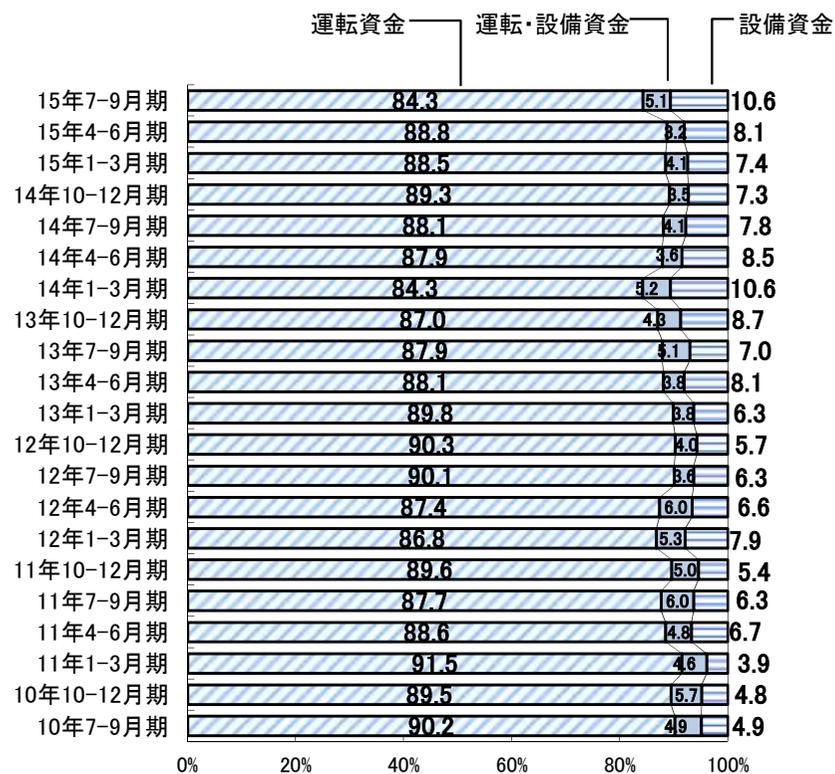
	2014/7-9	10-12	2015/1-3	4-6	7-9
1千万円以下	42.2	40.6	40.0	40.5	39.4
1千万円超~5千万円	40.2	45.6	41.1	44.8	43.1
5千万円超	17.2	14.7	18.1	14.8	17.1



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

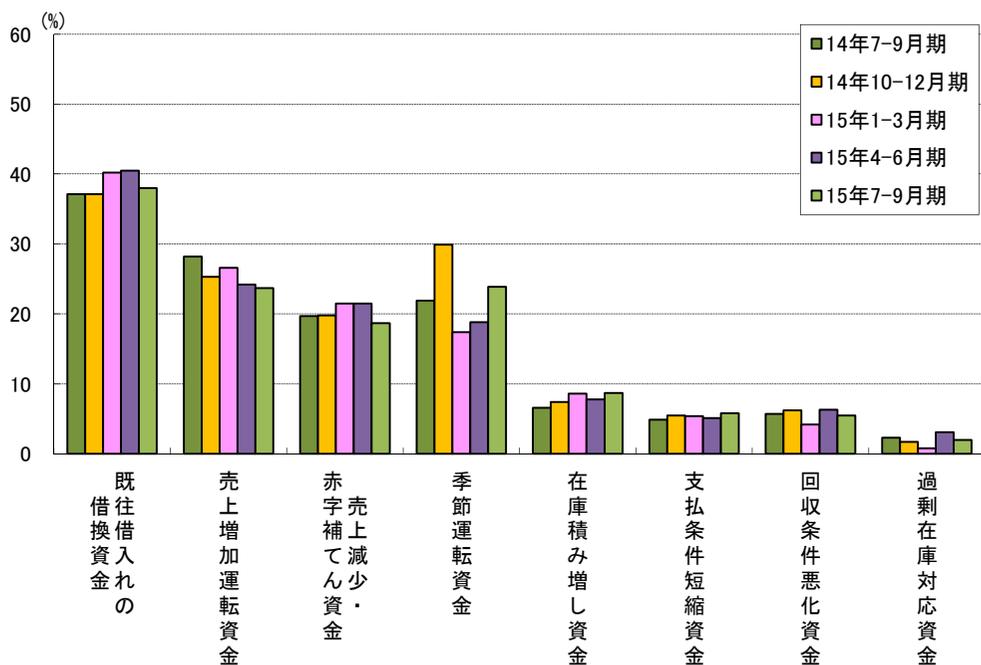
・資金使途については、設備資金がやや増加し、6期ぶりに10%を上回った。

③-1 資金使途の構成



③-2 運転資金の内訳

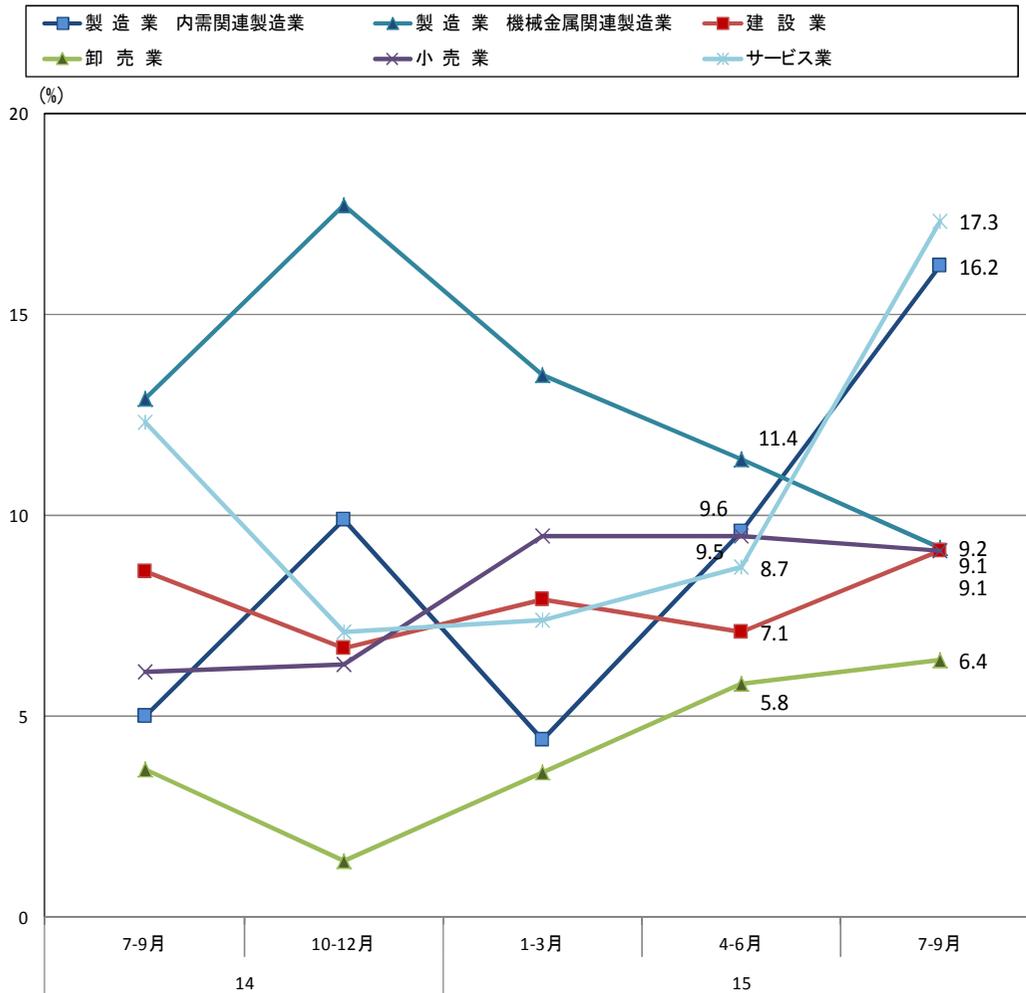
(原数値)		既往借入れの借換資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み増し資金	支払条件短縮資金	回収条件悪化資金	過剰在庫対応資金
15年	7-9月期	38.0	23.7	18.7	23.9	8.7	5.8	5.5	2.0
	4-6月期	40.5	24.2	21.5	18.8	7.8	5.1	6.3	3.1
	1-3月期	40.2	26.6	21.5	17.4	8.6	5.4	4.2	0.8
14年	10-12月期	37.1	25.3	19.8	29.9	7.4	5.5	6.2	1.7
	7-9月期	37.1	28.2	19.7	21.9	6.6	4.9	5.7	2.3



(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。
2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(参考)業種別設備資金(構成比)の推移

・設備資金の構成比を業種別にみると、内需関連製造業、サービス業が大幅に増加した。



	2014年 7-9月	10-12月	2015年 1-3月	4-6月	7-9月	(今期)- (前期)
製造業	9.4	14.7	9.8	10.6	12.3	1.7
内需関連製造業	5.0	9.9	4.4	9.6	16.2	6.6
機械金属関連製造業	12.9	17.7	13.5	11.4	9.2	▲ 2.2
建設業	8.6	6.7	7.9	7.1	9.1	2.0
卸売業	3.7	1.4	3.6	5.8	6.4	0.6
小売業	6.1	6.3	9.5	9.5	9.1	▲ 0.4
サービス業	12.3	7.1	7.4	8.7	17.3	8.6
総合	7.8	7.3	7.4	8.1	10.6	2.5

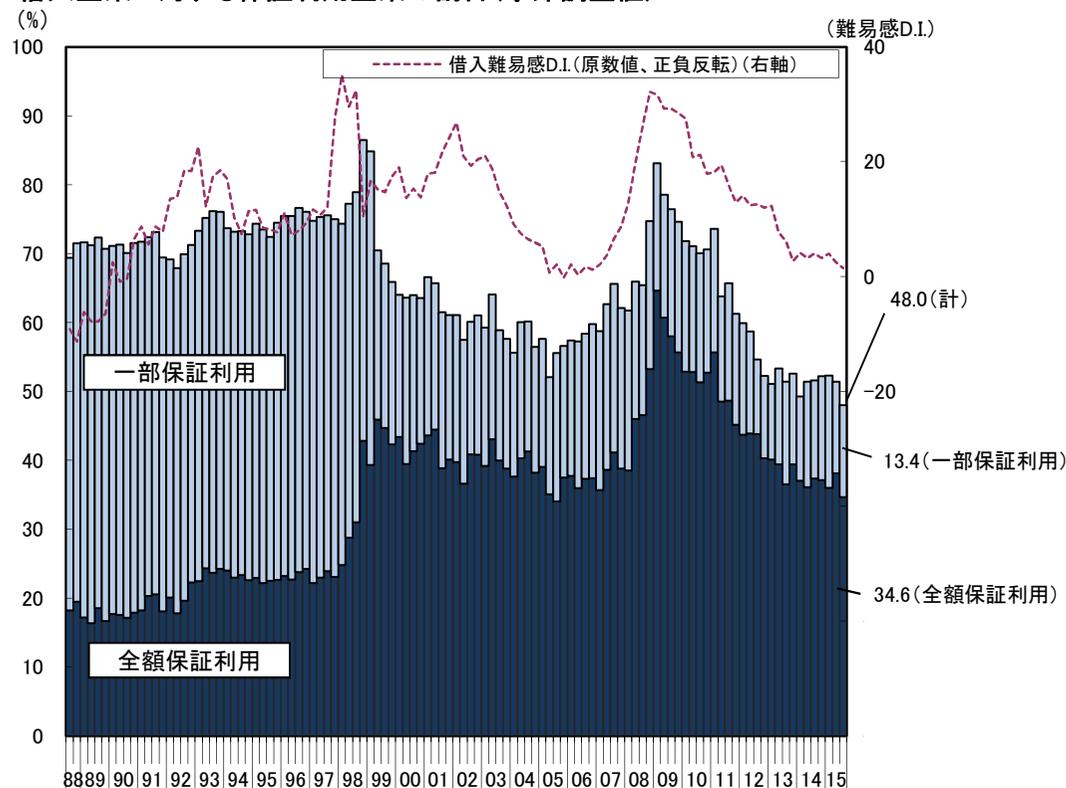
(注) 内需関連製造業: 食品、繊維品、木材・家具
 機械金属関連製造業: 機械、電気機器、金属

(4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや減少し、50%を下回った。利用割合をみると、保証を全額利用した企業が、やや減少した。

	2014/7-9	10-12	2015/1-3	4-6	7-9
保証利用企業の割合	51.6	52.2	52.3	51.4	48.0
全額利用	37.4	37.1	36.0	38.1	34.6
一部利用	14.2	15.1	16.3	13.3	13.4
プロパーのみ利用企業の割合	48.4	47.8	47.7	48.6	52.0

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(暦年・四半期)

(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

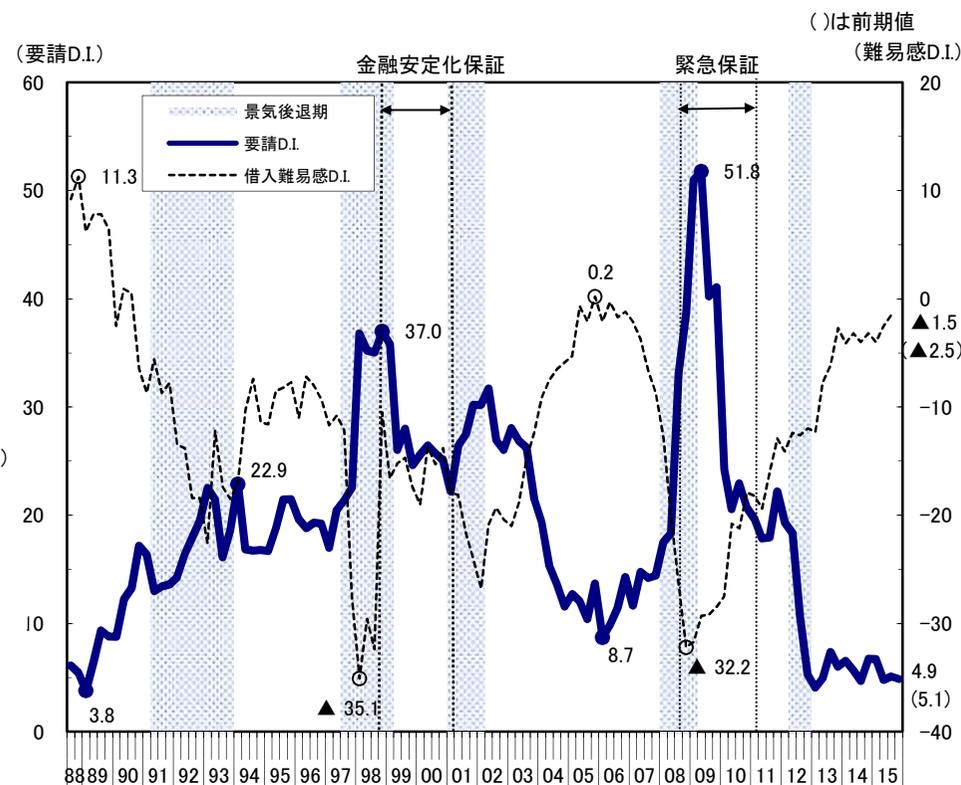
・来期(15年10~12月期)における保証利用要請D. I. は、ほぼ横ばいで推移している。

	2014/7-9	10-12	2015/1-3	4-6	7-9	10-12
要請D.I. 見通し	4.7	6.8	6.7	4.8	5.1	4.9
借入難易感D.I. 実績	▲4.0	▲3.2	▲4.0	▲2.5	▲1.5	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。

2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D. I. (季節調整値)及び借入難易感D. I. の推移



(暦年・四半期)

(5) 生産・売上げ

・生産・売上げD.I. は、マイナス幅が縮小し、▲3.9となった。

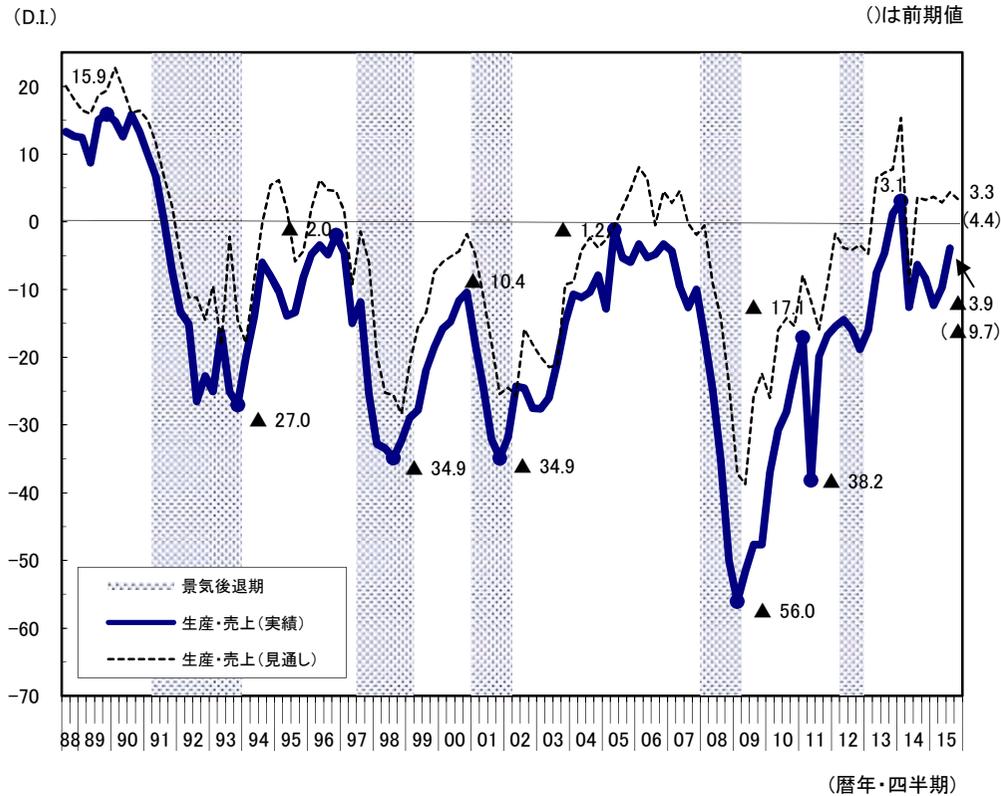
		2014/7-9	10-12	2015/1-3	4-6	7-9	10-12
生産・売上げD.I.	実績	▲6.3	▲8.4	▲12.3	▲9.7	▲3.9	
	見通し	3.6	3.2	3.7	2.8	4.4	3.3

(注) 前期比。生産・売上げD.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

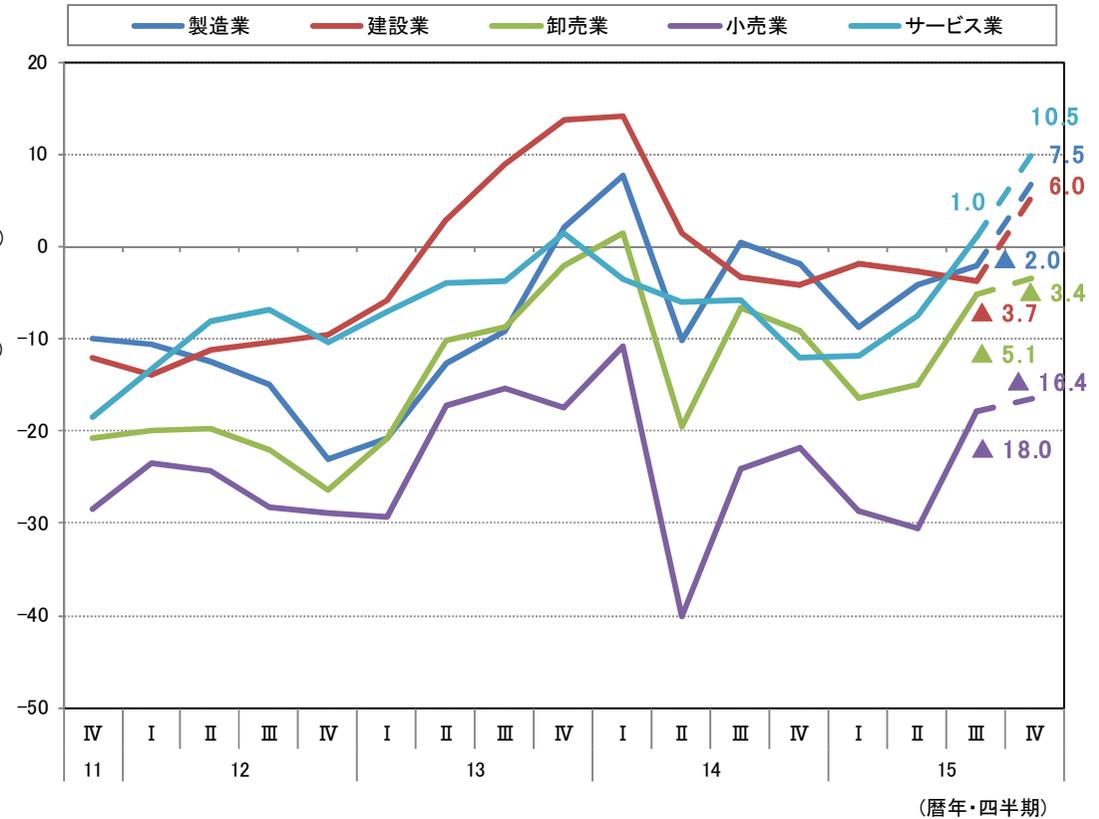
(参考)

・生産・売上げD.I.(業種別)は、サービス業がプラスに転じ、小売業、卸売業はマイナス幅が大幅に縮小した。

生産・売上げD.I. (季節調整値)の推移



業種別生産・売上げD.I. (季節調整値)の推移

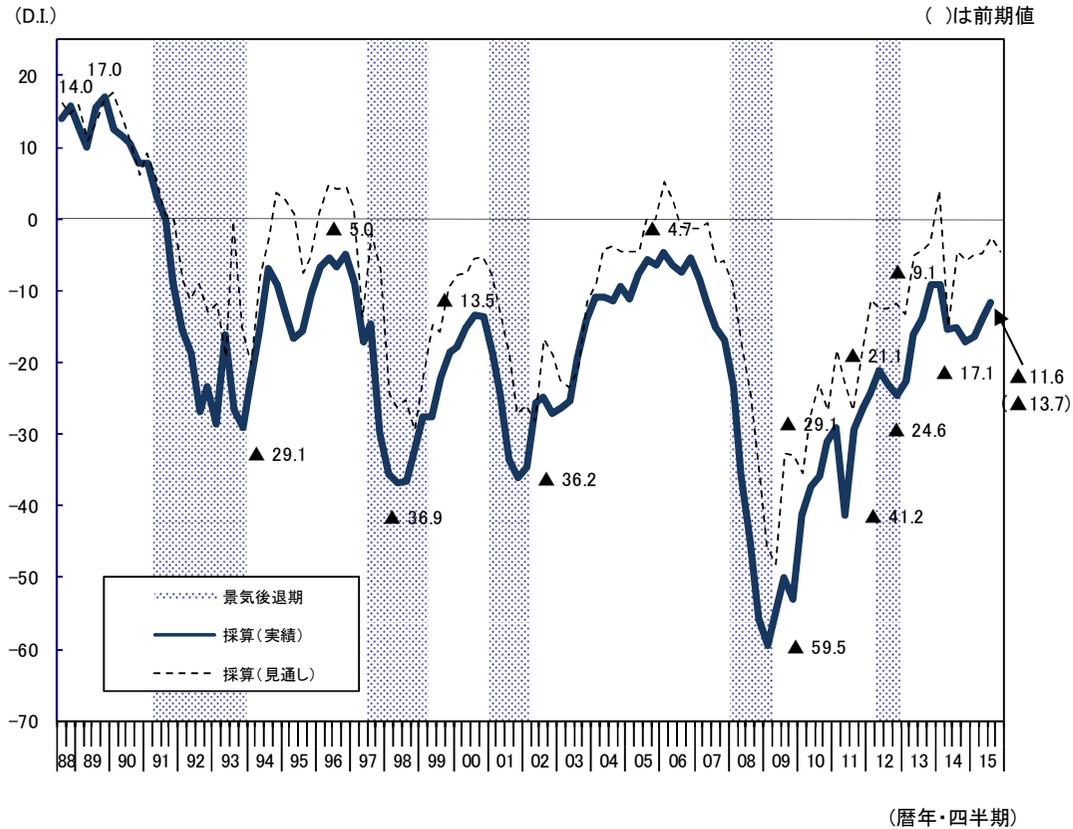


(6) 収益

・採算D.I. は、マイナス幅がやや縮小し、▲11.6となった。

		2014/7-9	10-12	2015/1-3	4-6	7-9	10-12
採算D.I.	実績	▲15.0	▲17.1	▲16.4	▲13.7	▲11.6	
	見通し	▲4.5	▲5.8	▲5.0	▲4.9	▲2.7	▲4.6

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。



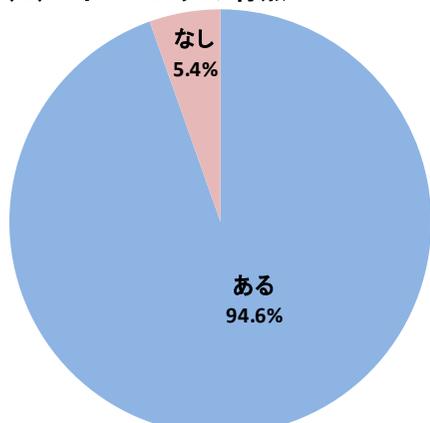
特別調査

1. 金融機関との取引状況について

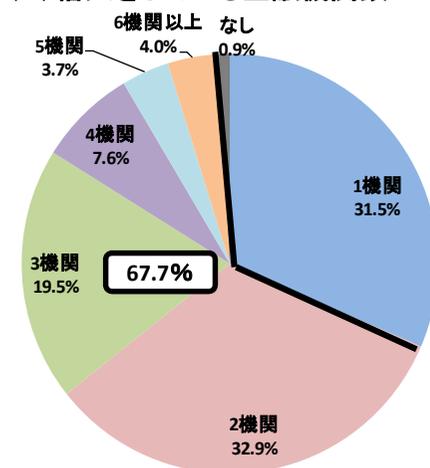
- ・9割超の企業が、メインバンクがあると回答している。
- ・7割弱の企業が、2機関以上の金融機関から借入をしている。
- ・メインバンクの金融機関業態は、信用金庫（構成比37.6%）が最も多く、次いで地銀（同33.8%）、都銀（同20.2%）と続いており、上位3業態で9割以上を占めている。また、従業員規模別にみると、従業員規模が小さくなるほど信用金庫をメインバンクとする構成比が高くなっている。

（注）本調査では、借入・預金残高にかかわらず、企業がメインバンクであると認識している金融機関を「メインバンク」としている。

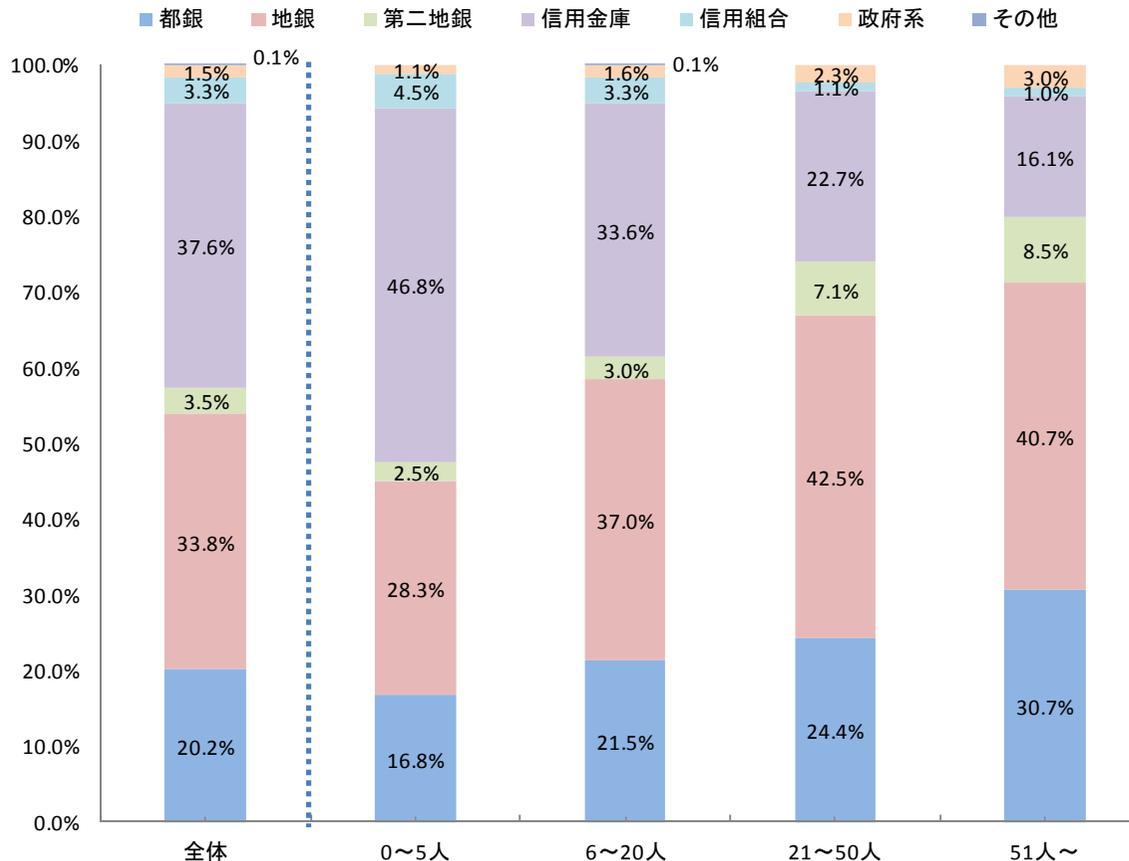
(1)メインバンクの有無



(2)借入をしている金融機関数



(3)メインバンクの金融機関業態（従業員規模別）

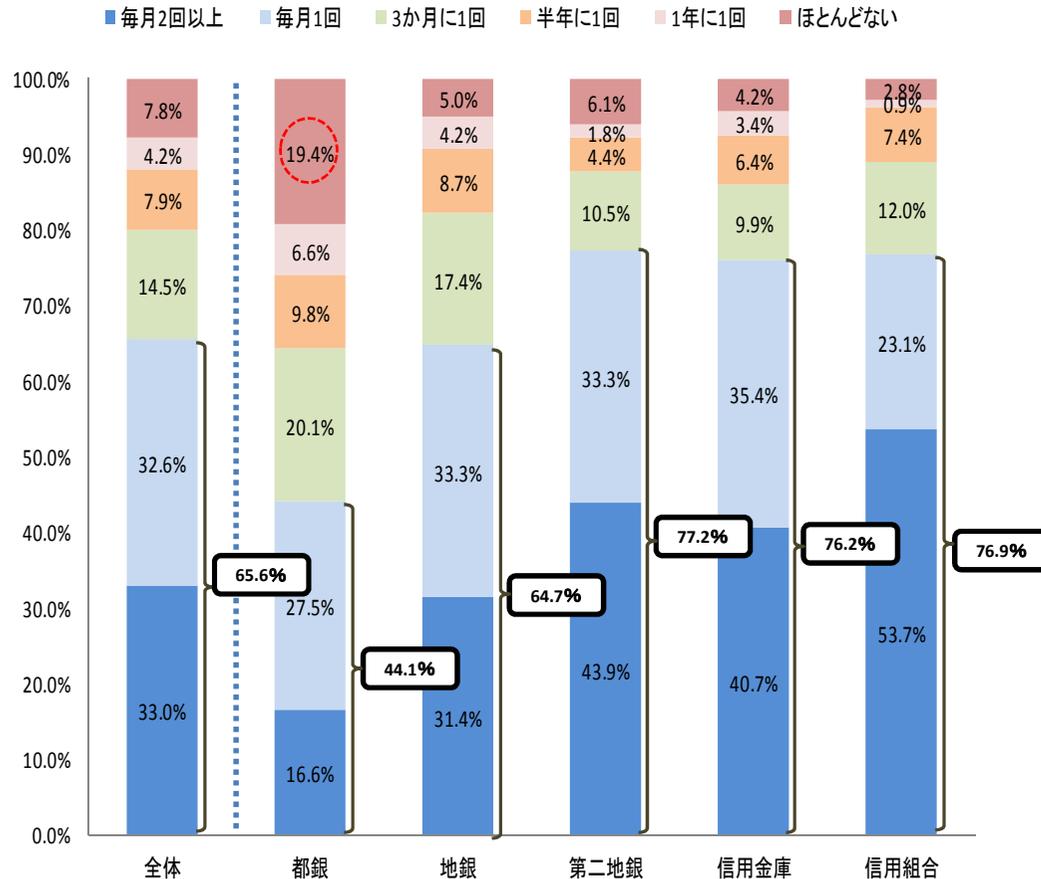


（注）都銀には信託銀行を含む（以下同じ）。

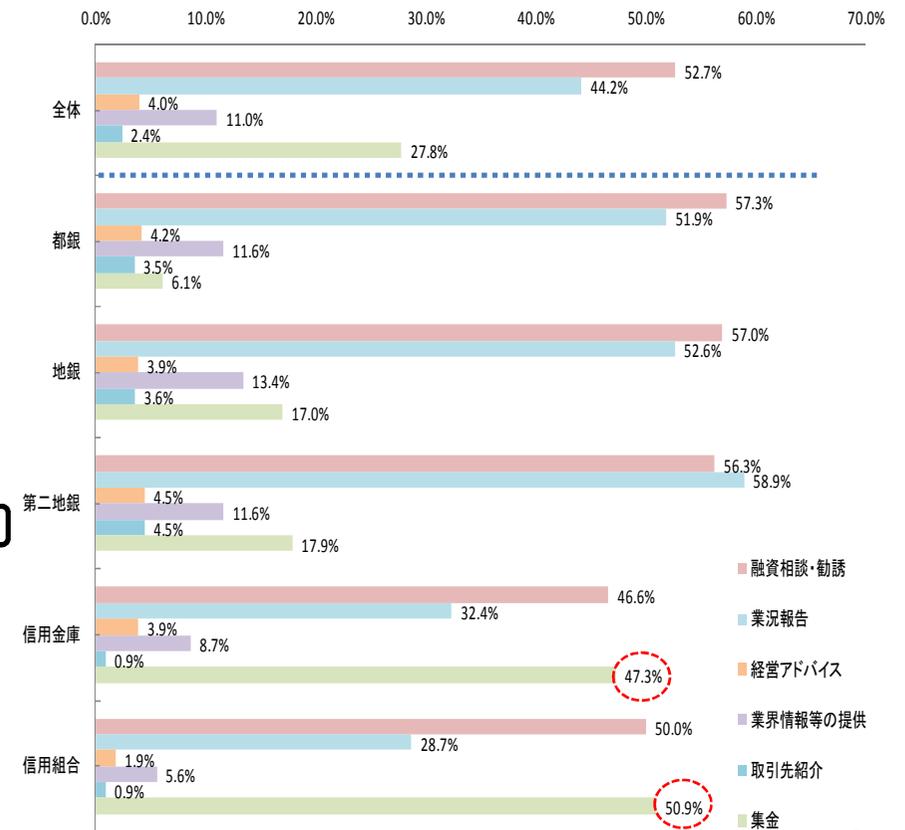
2. メインバンクとの取引状況について（1）

- ・6割超の企業が、毎月1回以上メインバンクの担当者と接触をしている。金融機関業態別では、第二地銀、信用金庫、信用組合をメインバンクとする企業で7割超、地銀では6割超の企業が毎月1回以上接触をしているのに対して、都銀は4割台にとどまっており、2割弱の企業はほとんど接触していない。
- ・メインバンクの担当者との接触内容は、「融資相談・勧誘（構成比52.7%）」が最多、次いで「業況報告（同44.2%）」、「集金（同27.8%）」と続いている。信用金庫及び信用組合では他業態と比べて「集金」の回答割合が高くなっている。

(1)メインバンクの担当者との接触頻度(金融機関業態別)



(2)メインバンクの担当者との接触内容(金融機関業態別)



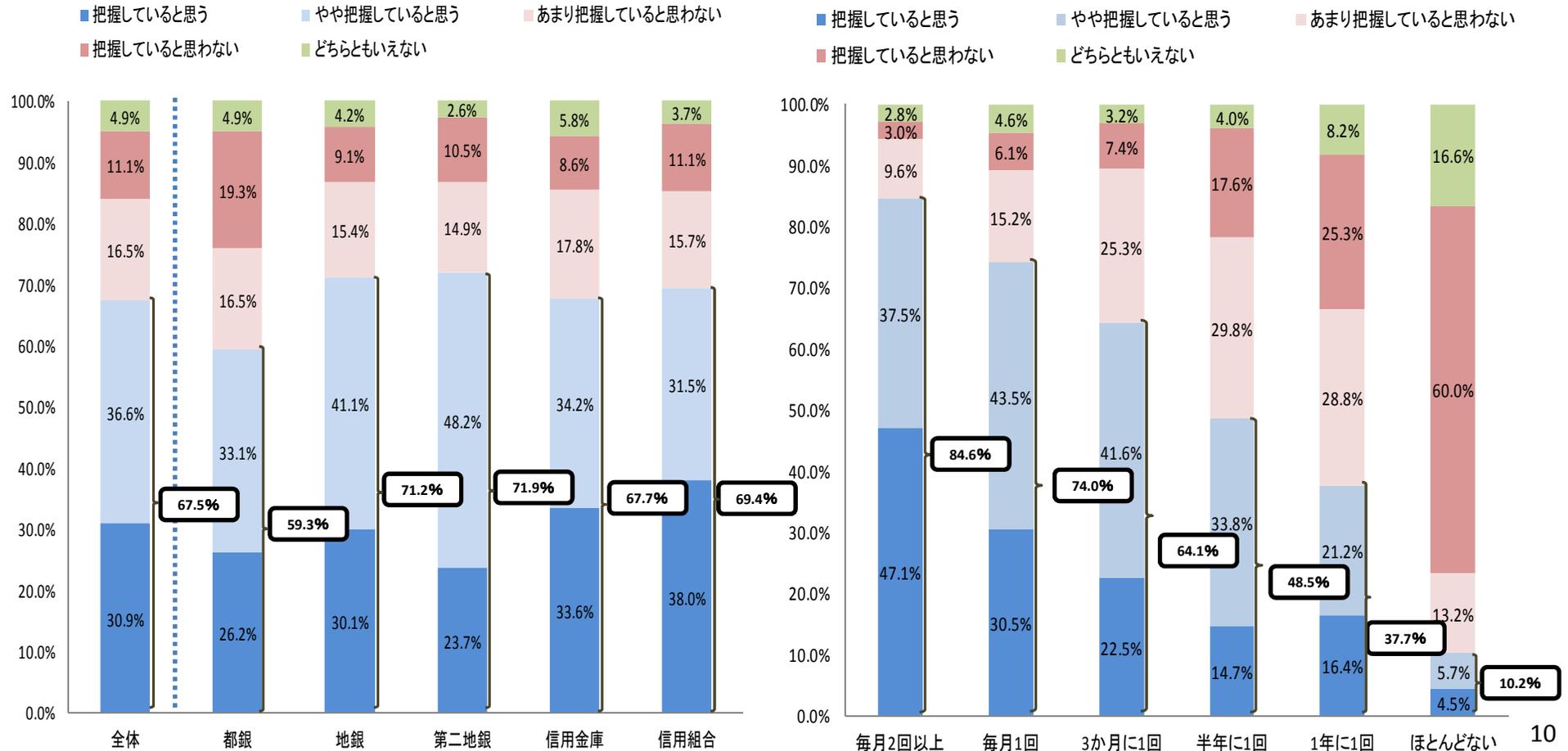
(注)複数回答(3つまで)のため、合計は100%を超える。

3. メインバンクとの取引状況について（2）

- ・7割弱の企業が、メインバンクの担当者は自社の事業内容及び経営課題・ニーズを把握（「把握していると思う」と「やや把握していると思う」の合計）していると感じている。
- ・都銀をメインバンクとする企業では、メインバンクの担当者が自社の事業内容及び経営課題・ニーズを把握していると回答した割合が他業態に比べて低く、6割を下回っている。
- ・メインバンクの担当者との接触頻度が高くなるほど、自社の事業内容及び経営課題・ニーズを把握していると回答する割合が上昇する。

(1)メインバンクの事業内容等の把握状況(金融機関業態別)

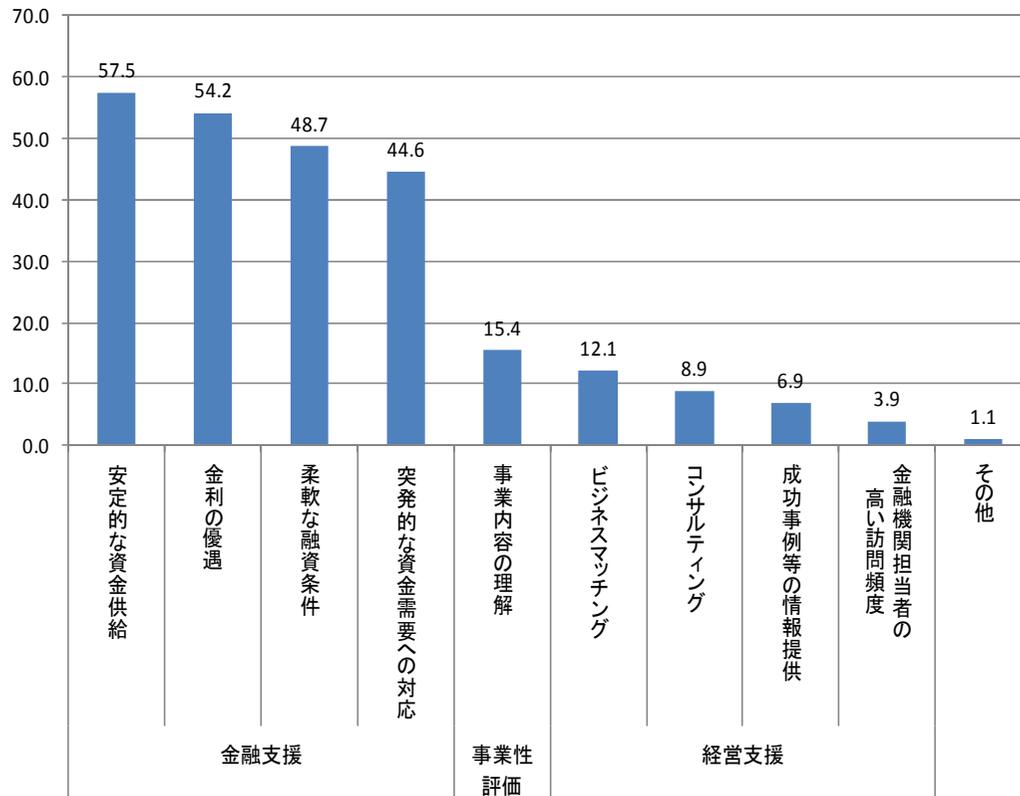
(参考)メインバンク担当者の事業内容等の把握状況(接触頻度別)



4. メインバンクに期待すること

・メインバンクに期待することは、金融支援に関する項目が上位を占めており、金融支援以外の項目では「事業内容の理解」（構成比15.4%）への期待が高くなっている。

(1)メインバンクに期待すること



(注) 複数回答(3つまで)のため、合計は100%を超える。